

創刊新春号

昭和54年1月28日発行
ブラウンハイム自治会
発行者 田中日出男
編集 自治会広報部

ブラウンハイム

自治会が発足

設立総会報告

昨年十月二十九日(日)並木第一小学校に於て、ブラウンハイム自治会が準備され、設立総会が開かれました。

総会は、居住者一五〇名が参加し、承認され、ここにブラウンハイム自治会が誕生致しました。

総会は先ず準備委員会からの経過報告に始まり、会則(案)各事項について次々と審議可決され、役員承認、階段委員の紹介、五十三年度事業計画、予算案等の報告と進み、設立総会はすみやかに閉会しました。

【総会内容】

- 準備委員会経過報告
- 自治会会則(案)審議

- 新役員の承認
 - 新階段委員の紹介
 - 五十三年度事業計画案審議
 - 五十三年度予算案審議
 - 会計監査委員の選出
- 総会に先立ち、入居後の慌しさの中で、住民より自治会設立の要望が上がり、各棟より二名から成る設立準備委員会を結成

し、自治会の骨子、規約案が作成されました。

会則(案)を作成するにあたり、準備委員会が最も気を付けた事は、誰にでも出来る、参加しやすい、形にとらわれずに、その年の階段委員の意志で、ある程度自由に巾を持って活動出来る自治会であること。すなわち、規約にあるから仕事をするのではなく、主体性のある自治会を作ることに主眼点がおかれました。

会則(案)で主に討議されたのは、階段委員のみで役員も兼ねてやる方法、階段委員の負担を軽くするために別から役員を選出する方法と、平行線の意見の中から現会則第十三条が生まれました。

自治会費については、先の管理組合アンケートで意見の多かった三〇〇円にしました。

九月十六日に新階段委員が集まり、準備委員会より会長、副会長、書記を、階段委員より副会長、書記、会係を選出し、新

役員が内定されました。階段委員はそれぞれ部に属し、各部内より部長が決定しました。各部とも最初の年度で、手さぐりの中、事業計画、予算案を作成し、総会に望んだ次第です。

会長就任にあたって

田中日出男

私共八月ごろ入居して以来、早くも五ヶ月を経過しようとしていますが、この間にも周囲の環境は少しづつ変わって来たように思えます。ブラウンハイムにおいても自治会が発足する運びとなり、その目指すものは住み良い住宅環境の追求でなければならぬと思えます。そしてその目的実現のために、広く居住者の希望、意見とが反映出来る様な自治会に育てて行かねばならず、またそのように活動して行く事が地方自治活動への貢献につながって行くものと信じています。次に自治会の諸活動においても多くの住民参加による、住民のための自治活動を行うべきものと思っております。以上自治会の将来展望を述べさせて頂きました。

会計報告

去る十月二十九日の総会で皆様にお願ひ致しました会費徴収の件についてご報告致します。

総会でもお願ひ致しましたように第一期自治会であるために活動資金が全くなく、各部で提出致しました事業計画案の実現さえも、財政面での壁につきあたってしまつたので、変則的ではありますが、一度に昭和五十四年十月分から昭和五十四年三月分までの六ヶ月分、千八百円を徴収させていただきましたように致しましたが、皆様のご協力を得ることができ、無事、十月二十九日現在の試算通り、全入居者(百九十世帯)の皆様の自治会参加が実現し、総額三十四万二千円の会費が集まりました。

今後は、この貴重な財産を活用し、会員相互の親睦をはかり明るく住み良い私達のブラウンハイムを育て上げて行くよう、暗中模索ではありますが精一杯努力をするつもりです。

ブラウンハイム自治会の発足をお慶び申し上げます。まだまだ未整備であることが判つてきました。団地自治会として、地域内コミュニティを創り上げる一つの住環境の整備ですが、また行政側のマクロ政策に対して、居住者のミクロの声を集約し、相互融和を計ることも重要課題であるという認識が深まったものと思ひます。中国の故事に、孟子の母は我

平均年令が三十五才という比較的若い世帯主が過半数を占める新しい団地ブラウンハイムにも明るい朝日が差し込んだように思ひます。

自治会発足準備委員会が初めて集会所で会合をもつた頃をふり返りますと、委員全員が必ずしも問題意識を明確に持っていたとは言えず、また年令層から

居住者の声の集約を

自治会に望む

準備委員 住谷 一男

もお判りのように多忙な方々が多く出席率もやや低調でした。しかし、話し合いが進む中で、この団地が大きな都市計画の的一环として職住接近等々マクロ的観点から環境整備されているが居住者の立場からみたミクロ的分野(駐車場問題、交通等)では

子の教育に適した環境を選んだとは引越したといいますが、私達のブラウンハイム及び周辺地域が「孟母三遷」にいう三度目にして最後の理想郷になるには一人一人の声と力を合わせ団地自治会に集約するのが、最も確実な道であると確認しております。みなさんのご協力とご理解をお願い申し上げます。

文化部

月日の流れは恐ろしい程に早く、入居して四ヶ月も過ぎました。どこのお宅も新しい住宅での生活リズムも整つた頃だと思ひます。自治会でも設立総会が無事終り、これからいろいろな部による活動が活発に展開される事でしょう。婦人達にとつて文化部の健全なる運営が特に気にかかる事柄ではないでしょうか。このブラウンハイムで快適に楽しく暮らしていく上で地域社会との親睦は絶対必要なものです。その手段として文化部の活動を大いに利用したいものだと思います。さしあたって、この地域でのお年寄の方々に話し合いの場や趣味などを広げてもらう為に老人クラブの設置をしたいものです。そして文化部としても教養ある素敵な活動になるよう種々の催し、講習会を開き、大いに利用していただけるよう努力致します。皆様の暖かいご援助をお願いします。

愛の呼びかけで 事故防止を!!

防犯部

ブラウンハイム南の小学校用地や水路付近及び東側提防は立入禁止となっておりますが、一部鉄線が切れていて、そこから子供が入って遊んでいます。また穴に子供が落ちたとの話も聞いております。子供だけで危険な遊びをしているのを見かけましたら『よそ様の子』と見ないで注意して下さい。事故が起きては取り返しがつきません。悲しみは嫌です。ブラウンハイムの私達は子供と一緒に見守り育てる気風を作ろうではありませんか。

お願い

◆十二月から道路交通法が一部改正されました。その内で自転車の罰則も厳しくなりました。自転車に乗られる方々は十分に気を付けて下さい。
◆自転車や子供さんの服、靴に名前を書くと、電話番号も入れて

下さい。特に『子供さんの靴の内側に油性マジックで書いて下さい』非常に役立つそうです。◆大型車には絶対に近寄らない様にして下さい。特に左折のトラックに気を付けて下さい。

青少年部

お子様をお持ちの皆様、我々青少年部についての活動方針をお知らせ致します。どうぞ多数のご参加をお願いします。

二十才迄を対象として、青少年の精神の育成及び身体育成に重点をおいて活動していきたいと思っております。現在、青少年部としては二つ程度に分け、小学生以下と中学生以上とし、小学生以下は身体育成に重点を、中学生以上は精神の育成を主題に進めていきたいと考えております。実際には、小学生以下は横浜市金沢区の区子連（金沢区子供連合会）の参加、小学校三年よりボーイスカウト等の参加により団体生活から協調性を学びスポーツで身体強化を計りた

いと思っております。また中学生以上については最近、新聞・マスコミ等で非行問題が目につきますので、親と子、そして青少年部で一緒に考えていきたい課題です。またボランティア活動等を通して色々な社会生活をも学ぶ考えです。

皆様のご家庭でお気付の点や諸問題をご両親と共に話し合っしていきたいと思っております。ご協力を是非お願いします。

私達青少年部の今年度の計画は
一、交通安全（工事用車輦より学童、子供達を守る）
二、各種団体への参加の推進

以上を大きな主題として進めていきたいので皆様のご理解と協力をよろしくお願いします。

保健衛生部

私達ち保健衛生部の活動と致しましては、皆様方家族全員の健康に関して区の保健所と連絡を密にし、もれなくその行事をお知らせしたいと考えます。また日常生活において自治会

保健衛生部を通してご不満、ご意見がありましたら、皆様と共に考え、より良い生活が出来るようにお役に立ちたいと思っております。

なにぶんにも不慣れなものですから、皆様のご協力をお願い致します。

投書箱

広報部では投書箱をゴミコンテナ横に設けました。皆様の住み良い環境作りの一助として、多くのご意見、ご不満を収集しております。また自治会報への投稿も期待しております。皆様、どうぞご利用下さい。



去る12月10日、飯浜延枝様(20-4-502)がおぐくなりました。慎しんで御冥福をお祈り申し上げます。

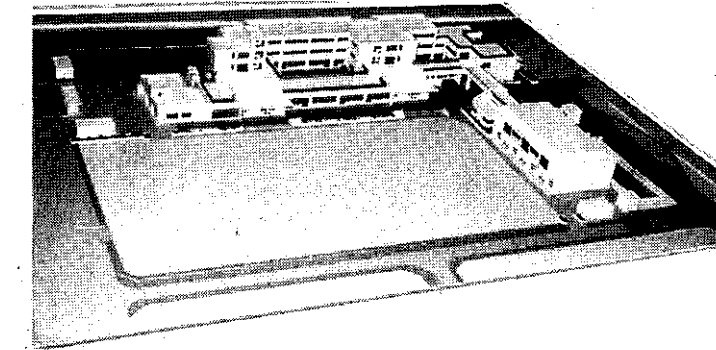
ご出産おめでとうございます。12月27日、飯窪直治様(20-3-201)方で長女 泰子ちゃんがお誕生されました。お健やかに……

並木第二小学校の 建設工事始まる!!

金沢シーサイドタウンも我々の入居以来、公団住宅の新築工事も相い次いで始まり、五十四年八月にはその殆んどが入居しそれに伴って並木第二小学校の

建設が急務となつてまいりました。去る十二月四日の市議会建設が正式に可決され、それに伴う建設説明会が集会所に於て開かれました。

並木第二小学校建設に伴う話し合い



十二月六日、市教育委員会施設課、市建築局工事課、建設業者から学校の基本的考え方、工事の概要について聞き、不明点は質問の中で補った。自治会としては、我々の子供が入る学校であり、立派な学校建設を依頼し、工事に協力するが、居住者の立場から、①日照が保たれるか。②工事に伴う騒音はどうか。③生活道路の確保ができるか。④将来の校舎開放の観点で一定の納得ある回答が得られたと判断し、今後の工事状況をチェツクしてゆくことにした。

クしてゆくことにした。

《学校の基本的考え方》

- ①日照問題を配慮し、校舎を南側、グラウンドを北側に配置した。
- ②将来の校舎開放も考慮し



写真は集会所での話し合い風景

た建設配置にした。③小学校では広いスペースを確保した。

《工事の概要》

- ①全体工事日程は五十三年十二月より五十四年八月迄(五十四年九月開校)
- ②杭打ちは五十四年十二月十六日から五十四年一月二十日迄(除く日曜、正月

休み) ③工事時間は午前八時から午後六時迄。④グラウンド、体育館、プールは次期予算になるが開校時までには作る。

質問は鋼管杭の騒音、打ち方安全道路、工事用及びグラウンドからのホコリ、トラックの運行時間、今後の学校環境など多数にわたりましたが、現段階で可能な限りの対処をする約束をとり、本問題を了解するに至りました。工事期間中は何かと不便とは思いますが、我々の小学校だと思ひ、工事に協力してほしい旨、重ねてお願い致します。また危険区域には入らない様入つていたら注意する様お願い致します。

編集 見知らぬ者同志が寄り集まった自治会、素人の広報部
後記 ヨチヨチ歩きでやっと出来た会報……次号からは、皆様の投稿を期待し、充実した紙面にしたいと思ひます。三ヶ所の投書箱をご利用下さい。